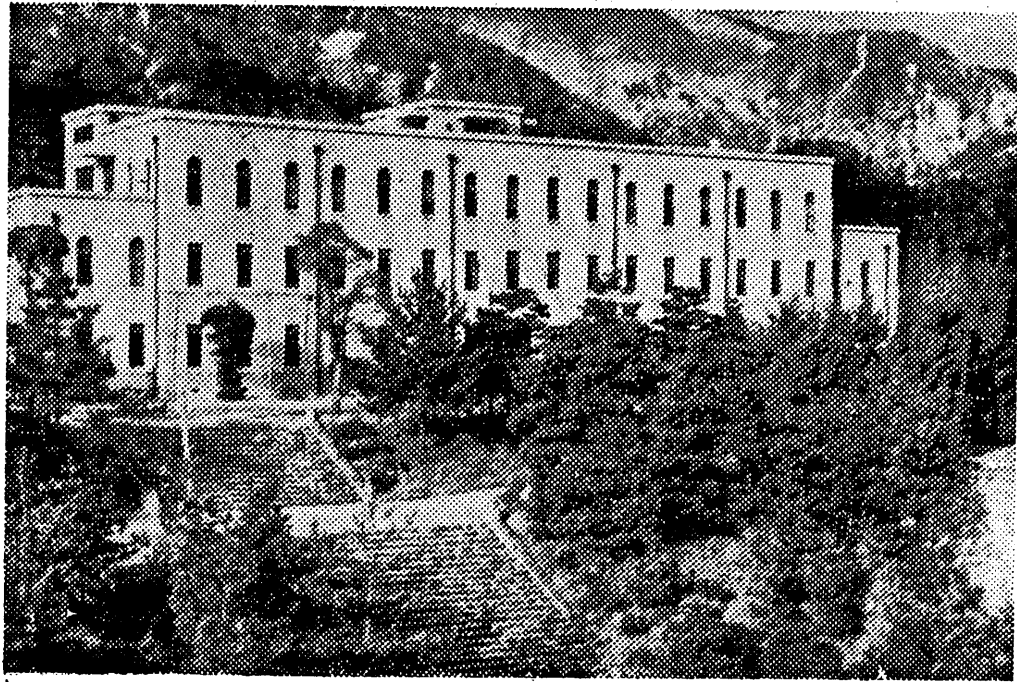


English
Study
Society



Co-operation in Study

What It Is -----
What It Does -----
How It Works -----



Liberty

"Outline of E.S.S., Kobe Univ."

Published by

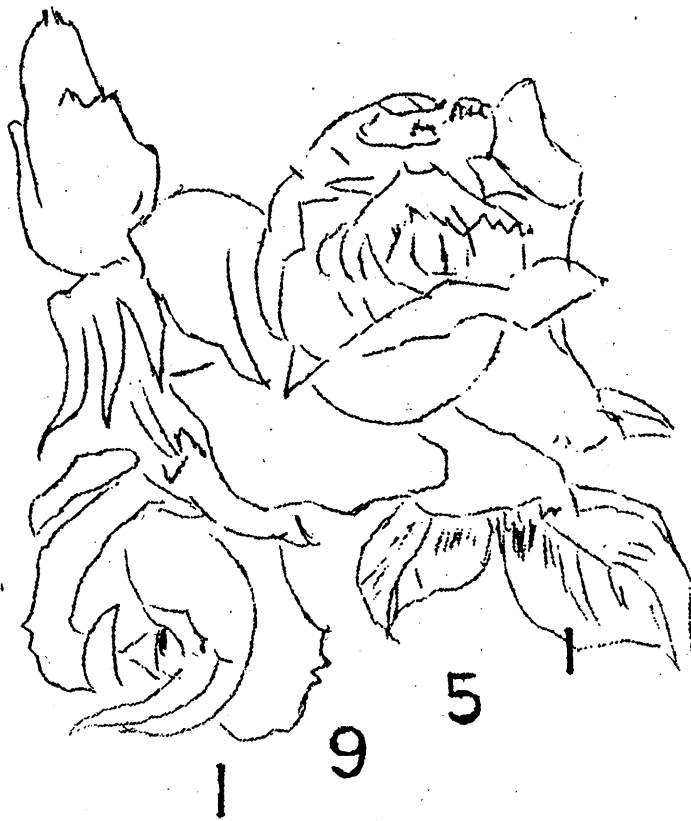
The Committee of English Study Society

Edited by

Special Course of E.S.S. of Kobe National University

[The cover photo taken by Assist. Editor H. Torigoe of Journalism Club of E.S.S. shows
The Institute of Economics and Business Administration of Kobe University at Rokko Heights

Let Us Join



E. S. S.

Brilliant, Fresh and Active E. S. S.!

本会は新しいため余り知られてはいないが 本学に於て最も優秀な文化団体であることは自他共に許すところであり 日本に於ては恐らくカー級に属するE.S.S.と云へるであろう。組織 会員 活動 その他あらゆる点で他に劣るところはない。

本会は今や国際語となりつゝある英語を更に深く修得し研究すると共に それを実用化し Hearing, Speaking, Writing, Reading のすべてについて会員にあらゆる練習の便宜を提供している。

本会は決してウスツペラなアメリカニズムを学んだりするところではなく 又いはゆる会話学校でもない。英語を通じて何事かをなすことを狭い意味に於ける目的とし ない意味に於て English Speaking Country との相互理解を深めんとするを目的としている。

本会の基本方針は E. S. S. of the members, by the members and for the members を徹底することにあるが 今や最も完全な又理想的なシステムの下に その運営が行はれている。又とかく女子の方が入会をしづられる傾向があるので 昨年入会した女子会員が Women's Club を結成し自主的な団体として良い効果をあげていることを付言しておく。我々は決して会員数を増やすために増加する意図はなく それよりも会話を中心とする本会の活動に積極的に参加される熱心な会員の加入を歓迎したい。

本会の方針として Nominal member の存在は許さないことも此のことを裏書きしているといへる。又会話等始めてだがという方を見かけるが 本会は決して good speaker のみの会ではない 現在60名の会員を有するが可成りの効果をあげている。上手下手等はめきにして熱意ある諸兄弟の参加を望むし 好奇心で入られるとお互に迷惑するので その点よく考えて入会されたい。以下入会希望者のため本会の解説を致します。

CONTENTS

	PAGE
I. 沿革及び Let's Celebrate Development of Our Society	1
II. 構成	2
III. 活動及び Budget of E. S. S.	4
III 活動つゞき	5
IV. 名簿及び III. 活動つゞき	6
IV. 名簿つゞき	7-9

I. 沿革

第一期 本会は1949年7月2日 神戸大学発足と共に English Speaking Society として設立された。7月11日第一回準備委員会を開催後種々な面で行詰り 同年8月30日一旦解散 9月4日再結成し28名の会員を以て活動を開始 同時に自治会文化部に所屬 会紙 E.S.S. Times の発行 海外文通講演会、英文図書貸出し、会話が開始され 3 group を編成して日常活動を行つた。会員数の漸増に伴い運営円滑化のため 会計、編集の係を設けた 12月には Bible Class 1950年2月より Times は6頁になり大阪神戸にて外人との discussion group が設けられた。一方御影 Bible Class の Peterson 氏との Wednesday Club が行はれ 会話練習に新たな機会を得た 又此の頃 Evening Course が開始された。

此の期間に於ては CIE 大阪及神戸図書館長、スミス、植木教授 又加藤事務長をはじめとして御影分校の教務、庶務、会計各課事務員の方々に絶大な御協力を得たことは特記に値する。此の初期に於ては外部への発展より内部充実に重きが置かれ 会員の意向を尊重して非組織化の方針をとつた。此の頃に開かれた文化部会で E.S.S. が A B C 級と分けられた中の A 級に最高得票で選ばれたが 活動 会費制度採用 会誌発行とすべて他に先がけたのは本会であつた。併し財政的には非常なピンチにあつた。

二期 新入生を迎え入れるため会員数が増大することを予想し会計 編集 渉外の四部と Reading Composition, Typewriting, Conversation, Discussion, Bible の六クラブを置いて再編成し3月に初の役員選挙を行つた。情報部はすぐに廃止された。3月18日におこつた小松教授追放反対斗争で活動は中断されたまゝ5月を迎えた。校舎が御影と六甲に分れていた為運営上非常に困難を来たしたが 講演会、討論会 見学会等の活動は新会員を迎えて急速に活潑化し 本学の文化活動は正に本会の独り舞台であつた。スミス氏の提案の Conversation Contest の新

しい試みが行はれ、タイムズは毎日新聞社の好意で写真を掲載する様になつた 7月には主導権が2年より1年に移され2ヶ月の夏季休暇には六甲大阪西宮に A training course が設けられ1回生を中心に夏季活動が行はれた 又8月4日からの日米学生関西会議には E.S.S. 会員5名の応募者が全員代表選抜テストに合格し 同会議中開かれた同志社 大外専 名外専と共に4大学 E.S.S. 会議が我々に他の E.S.S. を知る機会を与へた。校舎がわかれていたため1,2年間の接觸の機会少く相互の誤解がもととなつて2回生が主導権をもつた此の同学年間に摩擦がこり 9月にはそれが拡大した為それを解決すべく会員総会が開かれたことは本会に新しい事態をもたらした。10月に入ると唯会話のみでなくより深みのある英語を通じての研究活動をするために Study club, Women's club を以て構成される Study course と又 Training course が設けられ 名称も会員の意向で English Study Society となつた。併し財政状態が悪化し又2回生役員辞任の意向が強くなつたので名称変更と共に11月2日改選し三度編成をやり直して役員数の減員、機構の簡素化等を目標に Typewriting, Discussion, Conversation 各クラブ 会計、渉外, training course, Study course を廃止 次いで編集部を Journalism club とし Times の発行を隔月発行として編集部員の負担を軽減した Study club も廃止され現在の機構となつた。此の期間本会に課された最大の問題は(1)学年間の親和 (2)新入会員の training (3)財政問題 (4)クラブ活動と各自の生活の両立というものであつたが泉谷プレジデント始め各役員諸氏がよくその困難の打開に努めたため多くのトラブルにも抱らず活動は絶え間のない進展を続けた。(次頁へ)

Let's Celebrate
Development of Our Society

E.S.S. 設立記念日	7月2日(1949)
E.S.S. Times 発刊記念日	9月27日(1949)
Women's Club 発足記念日	11月4日(1950)
Bible Class	12月12日(1949)

本三期 三度目の編成に依り新委員会は理想的なシステムの下に徹底的な活動計画をたて発足した。そしてそこに与えられた大きな課題は(1)全会員のレベルの向上 (2)今迄とかく内部のみに重点をおいていたのを外部への発展にも力を入れ各実共に No.1 E.S.S. にすることである。1951年の新しき年を迎え1月にははじめての国際討論会も開かれたが春からは一段と進歩をとげるであろう。今や財政状態も好転しつつあり新入会員の諸君に正に絶好の時機に入会されることになる。以上の Pioneer の時代 多くの困難に直面した混乱の時代。そして今安定した本三期を迎えたが此の間 E.S.S. は活動を中断されることなく依然として少くとも本学に於て文化活動の尖端を進みつゝある。

Ⅱ. 構成

本会の活動は三種が並行して行はれる。即ち(1) 地区別に分けられた各ブランチのグループを中心とする日常活動でありこれは従来の English Speaking Society の行つていた活動を行うもので会話討論を主としすべての会員が参加することが必要とされる。此処に於ては全くグループの自主格活動に任せられ会員の親和、リーダーシップの育成徹底したトレーニングを目標としておりグループでの活動が充分行はれているかどうかは定期的に開かれる Conversation Contest に依つて明かにされる。

(2) 此の日常活動の他に Special Course が科外として設けられこれが English Study Society の活動を行うもので所属するクラブはすべて研究活動を中心としており(1)に於て hearing, speaking, の練習を行うと共に此処では writing, reading が、又自分の idea を進歩させるための活動がなされる。併し此れは希望者が加入すればよいのであつて義務的なものではない。

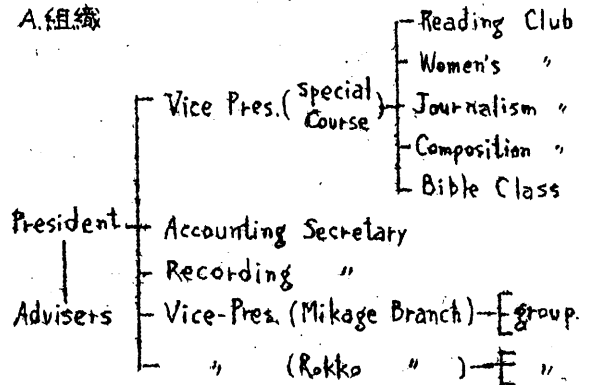
(1)は自治会では学部自治会 (2)は全学を包括する文化総部の関係にあつて(1)を分たれたグループをこゝではその区別なく横のれんけいを保たうとする。

(3) 本会の全般的運営活動及び全般的行事は

委員会が行う。

(1)(2)のグループ クラブを state とすると委員会は federal government に当る。

A. 組織



B 運営 本会は特に会則の定めがなく不文律故以下主なる案を列記する。

1 会費、義務 — 毎月50円の会費と入会に際しては入会金50円を納入せねばならない。会員は自分の居住地区に従つて日常活動のため必ずグループに属せねばならない。住所変更の際は直ちに委員に報告せねばならぬ。

権利 — 会員は本会の与えるあらゆる機会を利用して英語全般の研究及実地練習をすることが出来る。会費は不審の際には委員会に会計誌の公開を要求出来る。会員はあらゆる機会を通じてリーダー、委員会等に対して自由な批判勧告提案等を行うことが出来ると共にそれに対して当事者の明確な回答を求めうる。会務のために使用した費用は委員会に支払を求めうる。

除名 — 会員は次の場合に除名され本会の一切の活動に参加出来ない。

(1) 会費納入を二ヶ月以上怠つた場合委員会に依り除名される。

(2) 活動に参加せず活動する意志がないと認められた場合は所属グループ員の合意で除名。

2. グループ リーダー 義務 — リーダーは各グループの活動計畫等に関し会員と相談しそれを決定実行に移すと共に委員会よりの通達等を責任を以て会員に伝えねばならない。リーダーは毎月25日迄にグループ所属会員の翌月分の会費を徴収して担当 Vice-pres. に提出すること。若し期日に支払はない会員があればその分はリーダーが立替へること。リーダーは委員会の求めに応じて各月の活動

計画 必要な予算表を提出すること。

選出 — リーダーの選出方法は各グループの自由であるが、大体一ヶ月毎に輪番制にすることを原則とする。但しグループ会員にして委員リポーター Special Course 所属のクラブリーダー、シクレターを担当しているものはリーダーになつてはならない。

3. 委員会及び委員 構成 — 委員会は President, 各 branch の Vice-president, Special Course Vice-president を以て構成する。義務 — 委員は各担当 branch 或は course を統轄しリーダーとの連けいを保ちその運営に当る。委員 (branch) はリーダーに対して委員会の決定を伝え且つ毎月の会費を領収する。委員会は本会全般の計画を立てそれを実行に移すと共に本会の会計を共同で管理する。委員はみだりにグループの活動方針に干渉してはならない。委員は全体のために奉仕する義務を負う。委員は自分の担当するクラブ或はグループの活動に注意し又リーダーの求めに応じてそれを援助すること。委員会は会員よりの一切の提案勧告批判苦情を検討し出来るだけ会員の希望に沿う様努力すること。

選出 — 委員は毎年11月に選挙される。選挙に当つては各グループより一名宛候補者を立てそれより必要なる委員数 (branch 数 + Special Course + President) を無記名連記制にて全会員が投票する。委員の担当及び President は選出された委員の相互諒解で定める。シクレターは Accounting, Recording の2名が President に依り委嘱され任期は半年とし、委員会には必ず出席せねばならない。シクレターは委員会の事務を補佐する。

4. Special Course のクラブリーダー 義務 クラブの運営を行う。選出 — 選出方法及任期は特に定めない。

ジャーナリズムクラブに関してはクラブ員は各グループより一名宛選出されるリポーター及び希望者を以て構成し、リポーターの互選で編集長及次長を定める。リポーターの任期は半年、編集長次長は一年とする。

5. 顧問 — 顧問は教授を原則として委員会が委嘱し本会の運営活動等に関し援助指導勸

告を与える。

C. 活動内容 1. Special Course

Women's Club (1950. 11. 4 設立) 女子会員の自主的団体で主として英語を通じて外国婦人との女性問題 (house keeping, children's guidance 等) の共同研究することを目的とし、女子会員は必ず属さねばならない。各テーマの研究結果について英文レポートの提出を行う他の文化団体にはみられない特殊な団体。Reading Club (1950. 4. 設立) 英米文学の研究を主とし英書講読を中心にその内容につき討論研究を行い一冊読了後は教授との懇談会が行われる。テキスト代は会より支出される。Bible Class (1949. 12. 12. 設立) Bible の講読を通じてキリスト教を研究することを目的とし大甲御影に二分されているが実際には次の如く一週間に四つのクラスが開かれており会員は随意に参加出来る何れも外人に依るものである。

月	后 7-8	御影ピーターズン宅
火	后 7-9	大甲マクロクリン宅
	12.30-1	大学本部 (スミス)
土	后 3-4	大甲ランバル宅

Composition Club (1950. 4. 設立) 英語で idea を発表する訓練を行うと共に将来に於ては商業英語等を行う予定。会員の提出するレポート或は依文は関学本学等の教授により添作されると共に内容について批評が行われる。Journalism Club (1949. 9. 4 設立) 編集部として始められたものであるが今年になつてから Journalism Club として発足した。本会の会誌であり本会の会紙であり本会の活動に非常な貢献をなして来た E. S. S. Times (隔月発行 通常6頁) を発行している。おそらく内容においては本会誌に優るものはないと思はれる。又本クラブに関しては特に編集技術を要するので英文毎日柴田編集次長及び毎日新聞大阪本社利光写真製版部長から指導と援助を与えている会紙発行と共に新聞研究会を行う。

2. Group 各グループには2,3名の外人との会合等が中心となつているが一般に会話討論の練習に重点があかれ、その具体的内容は各グループにより異なる。

III. 活動 Useful Programmes for Students

- Meeting
 - SCAP C.I.E. Kobe Information Center
(Librarian, Miss Skinner)
Wed. Illustrated talk for young people
4:00 P.M. — 5:00 P.M.
Educational movies
5:00 P.M. — 6:00 P.M.
 - Thurs. "Life in America" discussion series
4:00 P.M. — 5:00 P.M.
 - Fri. Record Concert
4:30 P.M.
 - Sat. Record Concert.
4:30 P.M.
- SCAP C.I.E. Osaka Information Center
(Librarian, Miss Friday)
 - Conversation Class
 - Lecture • Concert
- Broadcasting
 - Come Come Conversation (The 1st Net-work,
N.H.K. 6:00 p.m. — 6:15 p.m.)
Everyday but Sat. & Sun.
 - High School Student Hour (The 1st Net-
work, N.H.K. 10.20 a.m. — 10.40 a.m.
On Sat.
 - Communication from America (The 1st
Network. 7:15 a.m. — 7:30 a.m.
On Sun.
 - Armed Forces Radio Service
Far East Network

設立以来の主なる活動 (1949.9 — 1951.1)

- 講演会 (主催 渉外部)
- 1. 戦時中に於ける在米邦人の生活
関学 神大教授 Roy Smith
- 2. アメリカ大學生活
パルモア学院 Herbert Coston
- 3. 合衆國に於ける青年活動
神戸ベース教育部長 J.W. Schoonen
- 4. 合衆國に於ける外國語
" "
- 5. 英詩について
啓明女学院 Mrs. Saitoh (Miss Taylor)
- 6. 合衆國に於ける公衆衛生
神戸オハ病院診療部長 Capt. R.F. Reid
- 7. アメリカ國民について
関学 神戸聖大教授 Roy Smith
- 8. キリスト教について
E.S.S. バイブルクラスリーダー C.W. Peterson
- 9. 日米兩國に於ける青年活動

- 近畿民衆部民間教育課 Paul Anderson
 - 10. 映画 "火山船" に出演して
啓明女学院 Mrs. Saitoh (Miss Taylor)
 - 11. 民主主義とキリスト教について
関学 神聖大教授 Roy Smith
 - 12. 科学と宗教
大阪女学院 Miss A.C. Grube
 - 13. カナダの政治について
関西学院教授 Donald Clugstone
 - 14. アメリカ下層階級の生活
神戸ベース教育部長 J.W. Schoonen
 - 15. 新聞について
英文毎日編集次長 柴田辰夫氏
 - 16. 合衆國に於ける婦人の社会的地位
近畿民衆部民間教育課長 Miss Colletti
 - 17. アメリカに於ける大統領と議会の関係
パルモア学院 Herbert Coston
 - 18. アメリカ大学々生々活
神大教育学部教授 角倉康夫氏
 - 19. ノーウェイに於ける教育
関学化学研究所 Miss E. Holter
 - 20. 夏季新聞講座 (5回 編集部主催)
英文毎日編集次長 柴田辰夫氏
 - 21. バーナードシヨウを想う
神戸大学文科教授 二宮尊道氏
- 上記4, 5, C.I.E. 神戸図書館, 20, 21 を C.I.E. 大阪図書館で開催した外は住吉及六甲各学舎にて公開で行われた。

- 討論会
 - 1. 民主主義と家族制度 (於 CIE 大坂 Lib.)
主催・日本国際学生協会神戸支部
 - 2. 科学と宗教は対立するか (於 全上)
主催・E. S. S. 大阪地区
 - 3. 外國映画と日本映画 (於住吉分校)
• E. S. S. 六甲地区
 - 4. 何人のために学校へ行くか (於 CIE 神戸)
• E. S. S. 神戸地区

Budget of E. S. S.

(1951. 1. 14 決定)

Committee	15 %
Branches	25 %
Special Course	50 %
Preserve Fund	10 %

入會申込票 (和文にて明瞭に記入のこと。入會申込票を書かれるに際して次の頁を心得ておいて下さい。)

1. 本会の練習は可成りきびしく行はれるから本当に真剣に活動に参加して下さい。往々にして見うけられる会員にさえなつていれば上達するという easy-going を考へは捨てること。
2. 本会で定められた会費納入等の規則は必ず守つて下さい。
3. E.S.S.活動と大学の授業 各自の私的生活健康等を充分マツクさせる様をして無理のない様にして下さい。
4. 少くとも本会では上級生、下級生の差別をなくしお互に遠慮せず共に活動し不平不満意見があれば委員に申出て下さい。

次に該当するものを ○ 印でかこむこと。

1. 自分の住所又は下車駅から考へて次の何れの地区に属するか。
 - a. 六甲地区 (三宮一岡本間及神戸市内を含む地区)
 - b. 西宮 (芦屋一塚口及伊丹尼崎甲陽方面の地区)
 - c. 大阪 (大阪市及びその衛生都市 郡部京都奈良方面)
2. Special Course 所属のクラブ中何れに入るか (希望者のみ・加入する数に制限なし)
 - a. Reading Club
 - b. Bible Class
 - c. Women's Club
 - d. Journalism Club
 - e. Composition Club(此の各クラブに属する会員は入った以上根拠よく他の会員以上に努力することと条件とす。但し Women's Club は女子の方は必ず加入すること。)
3. 高校 (或は入学以前の学校) に於て、次の何れかに関係したか (該当するものに ○ 印)
 - a. 自治会役員
 - b. E.S.S. 或は同種の英語クラブの会員
 - c. 委員役員
 - d. その他加入していた団体

があれば書くこと。()

4. 次の真に關しては如何

- a. 会話練習のための特別に学校に行つたか (あり なし)
- b. 会話は一度もやつたことがないか (ない ある)
- c. 外人と応待出来るか (出来る 出来ない)
- d. 本学でE.S.S.以外の団体クラブに入る予定か (然り 否)
- e. 入るとしたら何部か 又入つた際E.S.S.と何れに重複をおくか (部) (部)が重
- f. 本会に何か希望があれば卒直に記すこと.

.....
.....
.....
.....
.....

氏 名 年 令 才 学 部

住 所 電 話

出身校 校 舎

5. 試験制度について (於 C.I.E. 神戸 Lib.)
主催・E.S.S. 神戸地区
 6. 家族制度について (於 Kobe American School.)
・ 神聖大 E.S.S.
 7. 学生アルバイトについて (於 C.I.E. 大阪 Lib.)
・ E.S.S. 大阪地区
 8. 職業教育と人格教育 (於 全 上)
・ E.S.S. 大阪地区
 9. 赤色教授追放問題 (於 全 上)
・ E.S.S. 大阪地区
 10. 日本武家社会と現代日本の社会に及ぼせる影響 (於 Kobe American School) E.S.S. 六甲
 11. 赤色教授問題と共産主義 (全 上)
・ E.S.S. 六甲地区
 12. 学生の政治活動の可否 (於 C.I.E. 神戸 Lib.)
・ E.S.S. 神戸討論グループ
 13. イスラント語は国際語たりうるや (C.I.E. 大阪)
・ E.S.S. 大阪討論グループ
 14. 宗教は世界平和に貢献出来るか (全 上)
・ E.S.S. 大阪討論グループ
 15. 世界平和への貢献 (於神戸大学)
・ 日本国際学生協会
- オナー一回日米学生会議 (1950) オナー一回関西会議
神戸大学代表団
- | | |
|-------|-----------------|
| 半田 勇夫 | 関西執行委員 |
| 上野 陽 | 社会問題 テーブル |
| 山本 優 | 宗教 A " 議長 |
| 木村 寿 | 教育 B " " |
| 織田 綾男 | " " " |
| 竹村 博夫 | " " 議長 |
| 瀬島 節子 | E.S.S. タイムズ 特派員 |
| 上村 礼子 | " " " |
16. E.S.S. 活動について (於神戸大学)
・ 大阪外専日米学生会議代表団
 17. 科学の発展は人類に幸福をもたらすか
・ E.S.S. 六甲討論グループ
 18. English Conference (於神戸女学院)
・ 神戸女学院 E.S.S.
 19. アメリカの家庭生活 (於 関学 No.3 ハウス)
・ E.S.S. Women's Club
 20. アメリカに於ける教育 (於池田 Miss Grube 宅)
・ E.S.S. Women's Club
 21. 国際討論会 (於神戸大学) E.S.S. 委員会主催
日一 神大, 同大, 大外大, 神聖大, 神戸

- 女学院, E.S.S. 及神戸至大園連研究会,
米, 英, 諾, 韓, 中, 加 (25名)
近畿民事部, 25師団教育部, 神戸ベース教育部, 大阪アメリカンスクール, 関西学院, パルモア学院, 聖和女学院, プール女学院, 在阪神室教師 (英文毎日 1951.1.19.21.掲載)
宗教 — 科学と宗教
教育 — 職業教育と人格教育
政治 — 日本の安全保障
22. アプレゲール学生について (於住吉)
・ E.S.S. 委員会
・ 座談会
Peterson 宅 Wednesday Club (毎週定例)
Coston 宅 学生生活, 及音楽鑑賞
駐日ユネスコ代表リー博士を囲んで (於神大)
主催・神戸至大 園連研究会
カニ次米園教育使節団を迎えて (於神戸大)
使節団次席 Dr. Harold Benjamin (ミズリー大)
近畿民事部教育部長 Mr. Langrey
明治大学 E.S.S. 代表を迎えて (於神戸大)
神戸至大, 神戸女学院, 神戸大 E.S.S. 参加
・ Recreation & Party
1. 日本学生国際協会神戸支部主催 1949年
クリスマスパーティ 於 関学
 2. 朝日新聞社主催 America Fair
カーグループ Mr. Peterson 一家及神大
事務職員同伴
カーグループ Mr. Schoonen 塩田和子オペ
ラシンガー同伴
 3. 神戸アメリカンスクール校長 Mrs. H. Christenson
神戸ベース教育部長 Mr. Schoonen
帰国送別スキヤキパーティ 於神大
 4. E.S.S. Women's Club 主催 日諾交歓会
ゲスト Miss Elizabeth Holter 於住吉
 5. 日米学生会議神戸支部主催 1950 クリスマス
パーティ 於 神戸大学
 6. E.S.S. Osaka Club Pole Club 主催
1951 New Year Party 於住吉
ゲスト Miss A.C. Grube (U.S.)
Mr. Roy Smith (U.S.)
Capt. Byarns (U.S.) AFRS 局長
Mr. Aske (Norway)
Miss Holter (")
・ Visitation

1. St. Marie Catholic School 授業参観
教育学部教官 E.S.S. 会員参加
2. Kobe American School 授業参観
E.S.S. 教育学部 兵庫師範 小学校教官
3. A.F.R.S. Osaka-Nagoya Station 見学
Sgt. Wadkins, Capt. Byassis 説明
4. 毎日新聞大阪本社見学 E.S.S. 編集部員
参加 柴田英文毎日編集次長 説明
5. 神戸ベース教育部写真技術室見学
Dr. Launschtein 説明
6. 伊丹市 E.S.S. 活動会話指導及び見学
・Contest
1. 神戸聖大予科 E.S.S. 主催 英語糸論大会
E.S.S. 代表者一、二、三位獲得 於神聖大
2. 日本国際学生協会神戸支部主催
県下学生英語糸論大会 一名参加 於神大
3. E.S.S. Conversation Club 主催 一回
Conversation Contest (於神大)
審査員 神戸聖大 E.S.S. 黒川 秀他二名
4. 神戸市教育委員会主催 県下学生英語糸論
大会 於神戸商工会議所 一名参加
5. E.S.S. Committee 主催 二回 Con-
versation Contest 於 Linde 宅
審査員 関学 Dr. Teele. 聖和 Miss Burns.
リーダー Prof. Linde.
6. 神戸女学院主催 文芸会に招待を受く。
ベースの商人、観劇す。
上記の他会話討論の練習が各 group に於て行
はれて来た。
- ・E.S.S. Times 寄稿者
- Vol. I-1. A.V. Harbin (関学大教授)
2. 竹村博夫・村田安雄・Miss A.C. Grube.
3. 喜田 豊・丹羽泰和 (神聖大) Miss E. K.
Skinner (CIE 神戸図書館)・竹村博夫
4. 沢田木郎 (元日本国際学協神戸支部長)
山内 明・白神慶生
5. 吉岡峯子 (神戸女学院) 山内 明・竹村
博夫・丹羽泰和・上野 陽・織田俊男・
船木満洲夫
6. Roy Smith (関学大教授)・H. P. Marks (近
畿民衆部経済課員)・山本 優・安井仲
雄・Capt. R. F. Reid (神戸カハ病院診療
部長一オリエンタルホテル火災で死去遺稿)・
織田俊雄・規矩大定・坂田英一

7. 諏訪秀行・丹羽泰和・横山藤雄 (日本国際
学生協会神戸支部文化部長)・Lorraine
McCray (神戸アメリカンスクール学校新聞
編集長)・Mrs. L. W. Peterson・島 純
8. Miss Helen Nakayama (CIE 大阪図書館)
山本 優・森 直樹・W. C. Byrns (AFRS
放送局長)・Chaplain Morvill (25 師団教会
牧師)・坂田英一・畠山幸夫
9. 柴田辰夫 (英文毎日編集次長)・D. A. Clug-
stone (関学大教授)・池田儀一郎 (神大教
授)・B. Porter (関学教官)・Roy Smith・
二宮善道 (神大教授)・浦島節子・上村礼子
10. Miss O'Connell (神戸アメリカンスクール)・鷲尾
隆三・中西良夫・鈴木栄二 (大阪警視総監)
唄野 隆・福田 (神戸ベース人事課)
- Vol. II-1. 武市健人氏 (文博神大教授)・谷川
(神大教授)・藤原義一・Roy Smith・唄野 隆・
坂部重行・仁木信夫・坂倉慶治郎・上村礼
子・糸井温子
2. 尾上 (神大教授)・竹村博夫 他
外人 14 名 外部 13 名 会員 25 名 = 52 名

IV. 名簿

A. 設立以来の主なる役員

- ・President 竹村博夫 (E) 住吉中 神聖大専
泉谷太一 (E) 芦屋高
- ・Vice-Pres. 山本 優 (J) 伊都中 神聖大専
半田勇夫 (B) 神戸高・喜田 豊 (E) 神戸高
塩見隆一 (B) 灘高・是則直道 (E) 灘高
泉谷太一 (E) 芦高・島 純 (J) 岩和田高
上野 陽 (B) 神聖大専
- ・渉外部長 半田勇夫 (B)・山本 優 (J)
上野 陽 (B)・鈴木 登 (E) 甲陽高
- ・編集部長 永藪克己 (E) 四條畷 神聖大専・
中島 健 (J) 芦高
- ・同 次長 浦島節子 (E) 神戸女学院高等科
上村礼子 (L) 神戸高・是則直道・鷲尾隆
三 (B) 池田高・竹村博夫
- ・情報部長 生島五治 (E) 神戸高
- ・会計部長 村田安雄 (E) 神聖大専・日神慶
生 (E) 西山一高・古屋孝夫 (B) 神聖大専・
島 純 (J)・中山 清 (B) 芦高
- B. 現役員 (1950. 11. 2. 選出)
President 山本滋樹 (B) 三風ヶ丘高

Vice-President.

(Rokko Branch) 上野 陽 (B) 甲陽神聖大予
 (Mikage ") 板倉慶治郎 (L) 広島高師
 (Matsuno ") 寺内史朗 (T) 住吉高
 (Special ") 竹村博夫 (E) 住中神聖大予

Secretary:

Accounting S. 仁木信夫 (B) 三島野高.
 Recording S. 盧見隆一 (B) 灘高.

Adviser:

Roy Smith 神聖大関学大教授 アメリカ
 文化史・貿易実務・国際貿易担当.
 明治36年来朝 イリノイ大学卒.

二宮尊道 神戸大学文科教授 英語担当.

二宮尊徳の直系 東大英文科卒.

植木敏一 神大教育学部専任講師 英語及
 教授法担当 九大卒.

C. 本会々員或は関係者にて E. S. S. 外の 団体
 役員

日本国際学生協会神戸支部委員長 半田勇夫
 神戸大学工学部自治委員長 山村 祐
 神戸大学法学部 " 島 純
 神戸大学文化総部長 竹村博夫
 伊丹市 E. S. S. 委員長 島 純

	NAME.	ADDRESS	TEL. No.	ALM. MAT.
(一回生)	畠山 幸雄	B 大阪府枚方市中振 524	-----	四條畷中 大商大高商
	宮地 晋一郎	B 大阪市北区豊崎町 24	-----	北野中 神聖大專
	坂部 重行	B 大阪市淀川区野里町 439	-----	北野中 神聖大予
	坂田 英一	B 大阪市住吉区我孫子町 5	住吉 3203	浪速中 大商大高商
	竹村 博夫	E 大阪市天王寺区筆ヶ崎町府営住宅 31	-----	住吉中 神聖大專
	寺内 史郎	T 大阪市阿倍野区北島中一ノ一	-----	住吉中
	滝井 淳一	E 大阪市生野区杭全町 826	-----	大 高
	山本 優	J 神戸市灘区篠原本町 4 の 2 重松方	-----	伊都中 神聖大專
	藤原 義一	B " 生田区楠町 2-44	-----	六甲高
	船木 滿洲夫	P " 長田区林山町 22	-----	滝川高
河崎 正治	B " 東灘区御影町郡家垣ノ内 牛尾方	-----	-----	
木村 孝	B " 灘区辰中町 1-158	-----	滝川中 神聖大予	
宮野 一三	B 明石市面本町 60	明石 25	-----	
中西 良夫	B 神戸市東灘区魚崎町魚崎 466	-----	芦屋中 神聖大予	
織田 俊男	E 兵庫県武庫郡鳴尾村高塚 1	-----	北野中 神聖大予	
重松 明春	E 神戸市東灘区住吉町 神大御影篠内	-----	神聖大予	
鳥越 浩	E " 須ヶ区潮見台町 1-27	須ヶ(1) 3368	-----	
上野 陽	B 尼崎市東櫻木町 8	尼崎 2233	甲陽中 神聖大專	
安井 伸雄	E 芦屋市吳川町 59	-----	灘中 神聖大予	
藤井 正道	E 神戸市東灘区御影町字岸本 1544 の 1 小松方	-----	-----	
(二回生)	唄野 隆	E 堺市大浜南町公園地 67	-----	大 高
	東田 倬	E 大阪市東淀川区豊里町 656	-----	三島野
	丸山 康夫	E 大阪府中河内郡曙川村字相村 123	-----	住 吉
	中島 弘	B 豊中市字岡山 309	-----	北 野
	仁木 信夫	B 茨木市上中條 175	-----	三島野
	小見 繁夫	B 大阪市港区吾妻町 2-4	-----	市 岡
	酒井 一	L " 北区堂島西町 50	-----	甲 陽
	諏訪 秀行	E " 天王寺区寺田町 3	-----	天王寺
	上田 雄三	B 大阪府三島郡山田村十里丘	-----	三島野
	鷲尾 隆三	B 豊中市新免 1065	-----	池 田

NAME	ADDRESS	TEL. No.	ALM. MAT.
山本 滋樹 B	堺市伏寺諏訪森町西4丁	伏寺 622	三國ヶ丘
湯浅 富一 B	大阪市東区京橋 2-16	東 3854	北野
真野 修 B	神戸市東灘区本山町岡本高井 14		六甲高
宮田 和子 S	神戸市灘区高初字住田 4		御影高
田淵 大祐 E	“ 灘区上野通 5-27		神戸高
荒木 眞善雄 B	西宮市今津浜田町 430		甲 陽
板倉 康治郎 L	神戸市生田区北長狹通5丁目 織維向屋町 35		広島高師
泉谷 太一 E	西宮市南越木岩町 49		芦 屋
石村 昌子 P	“ 川添町 29		西 宮
糸井 温子 P	“ 高木石沢町 33		神 戸
木村 淳一郎 B	神戸市東灘区真崎町横屋内田 16		灘
是則 直道 E	“ 生田区北野町 3-100		
松田 毅 B	西宮市今津浜田町 410	西宮 4082	北 野
瀧口 健 B	神戸市灘区ミカガ町城前 1477		灘
中島 健 J	西宮市越水町 37		芦 屋
中山 清 B	尼崎市神田南通 4-103	尼崎 315	芦 屋
島 健 J	西宮市甲東園神呪字新開		芦 屋
塩見 隆一 B	西宮市宮面町 56	西宮 1714	灘
鈴木 登 E	西宮市甲東園松葉荘 12-4		甲 陽
田村 扶起 E	神戸市灘区岩屋中町 3-32		神 戸
谷 仁 B	“ 灘区天城通 3-14		灘
上村 礼子 L	“ 東灘区御影町郡家上山田 90-3	御影 4966	神 戸
瀬島 節子 E	“ 灘区赤坂通 2-2		神戸女学院高等科
八木 頼夫 B	兵庫県武庫郡鳴尾村浜甲子園高砂	西宮 5247	甲 陽
山下 英二 B	西宮市千歳町 17	西宮 1429	芦 屋

・連 台 單

NAME	ADDRESS	REMARK (TEL.No.)
(教 育) Miss Marie Woener	大阪市東区伏見町4丁目 25 師団教育部	25 師団教育部長 (Osaka Toll 455)
Mr. Gibbons	大阪市西区土佐堀近畿民争部民間教育課	近畿民争部民間教育課員
Mrs. 星野 富士子	神戸市東灘区住吉町山田	全 上 (御影 2651)
Miss Sarahl Head	大阪市西区土佐堀近畿民争部民間教育課	近畿民争部民間教育課長
Miss Copeland	神戸市生田区明石町神戸ベ-ス教育部	神戸ベ-ス教育部長
Miss E.K. Skinner	“ “ 三宮町 CIE 神戸図書館	SCAP CIE 神戸図書館長
Miss Friday	大阪市東区高麗橋 “ 大阪 “	“ 大阪 “
Miss Helen Nakagawa	“ “ “ “	“ “ 副館長
Mr. William Byarnss	大阪市東区馬場町大阪中央放送局内AFRS	AFRS 放送局長
Miss O'Connell	神戸市灘区六甲台 アメリカンスクール内	神戸アメリカンスクール 校長
Mrs. Carl J. Fritsch	(病院関係)	(宝塚) 260
Miss Kinner	“ “ “ “	大阪アメリカンスクール
Mrs. MacFarland	大阪市西区土佐堀近畿民争部	近畿民争部
Miss Hougston	“ “ “ “	神戸ベ-ス教育部
Miss Clark	大阪市東区伏見町 25 師団教育部	Comp Osaka 教育部
Miss Johnston	“ “ “ “	神戸ベ-ス教育部

NAME	ADDRESS	REMARK (TEL.No.)
Major Moor 神戸大学	大阪市西区土佐堀 近畿民事部	近畿民事本部次長
二宮 尊道	神戸市灘区六甲山 1035-50	文科教授
池田 儀一郎		"
植木 敏一 関西学院大学	神戸市灘区笑面通 1-22	教育学部専任講師
Mr. Roy Smith	西宮市上ヶ原 関西学院ハウス No.3 (米)	経済学部教授 神聖大教授
Mr. Donald Clogstone	" No.4 (加)	牧師
Mr. D.W. Porter	" No.1 (米)	
Mr. Keith W. Johnson	" No.1 (米)	
Mr. A Van Harbin	" No.7 (米)	
Miss Elizabeth Holter	神戸市東灘区住吉町鴨子ヶ原 Brandt方(米)	高校部化学研究室
Dr. Teele	西宮市上ヶ原 関西学院ハウス No.2 (米)	
Mr. Linde	" No.3 (米)	
・パルモア学院		
石井 卓爾	神戸市灘区八幡町 4-42	パルモア学院長 神大文科教授
Mr.&Mrs. Saito	パルモア学院内 (米)	
Mr. Harbert Coston	" (米)	
・聖和女学院 -- (Miss Burns)	・プールカレッジ (Miss Foss --- 院長)	
・宣教師 --- Mrs. Chen (中)	Mr. Kim (韓)	Mr. Earl Alpolani (布)
Mr. H.T. Price (米)	Mr. Boyer (米)	Mr. Ramball (加) Mr.&Mrs. MacLauchlin (米)
Mr.&Mrs. L.W. Peterson (神戸市東灘区城ノ前町)	Mr. Baldwin (神戸市葦合区中島通3-48)	
Miss Alice C. Grube	大阪府池田市城山町 2034	----- 大阪女学院 府立高級通訳養成所
・一 般		
Miss Josephine Colletti	695 Park Avenue, New York 21, U.S.A.	元近畿民事部民間教育課長
Mrs. Harriet Christenson	% Stig Christenson 3157 Wilshire Blvd Los Angeles, Calif. U.S.A.	
Mrs. Mary J. Reid	6 Bolivar Ave, Troy, New York, U.S.A.	故 Capt. Reid 母塾
Mr. Daniel T. Meloy	神戸市生田区北野町 2-8の3	神戸駐在アメリカ副領事
柴田 辰夫	大阪市北区堂島 毎日新聞大阪本社	英文毎日編集次長
利光 六郎	" "	毎日写真製版部長
・各大学 E.S.S.		
同志社大学	大河内 護三 京都市伏見区北景勝町 74-3	
	那須 博 " 中京区東堀川通六角下ル	
大阪外大(専)	井尻益次郎 " 東区繩手四條上ル末吉町 98	
	深尾 栄助 " 右京区嵯峨野子代ノ道町 10-2	
神戸外大	日美 清 大阪市西淀川区姫島町 19	
神戸女学院	吉岡 峯子 神戸市東灘区泉崎町横屋 142	
神戸聖高大学	丹羽 泰和 " 長田区大丸町 3-25	
	横山 藤雄 " 灘区船寺通 1-3	

御 注 意

E.S.S. 入会を希望される方 或いはまだ決めていないが一応説明をききたい方のために 次の通り会合を開きますから必ず御出席下さい。

入学式の翌日

午後 1 時 — 2 時半 説明会 及 プレゼント 挨拶
於 208 号室 (2 階) 六甲校舎

全 2 時半 — 3 時半 申込受付 及 各地区別
新旧会員茶話会 (E.S.S. のこと 学校生活のこと等)

全 3 時半 — 4 時 Special Course 加入者会合
及 新入会員の役員選出

既に申込まれた方も当日欠席の場合には入会取消と みなします。 所定
申込票の記入提出 及 入会金 4 月分会費 100 円 納入を以て入会とします

E. S. S. Accounting Secretary.

(Three Pictures)

表紙は Cooperation in Study, 表紙の裏面には Liberty をして
この頁の裏には Peace を表徴しました。 協力、自由、平和 は我々の
かかげる モットーであり又 全人類のかかげるべきモットーです。



Honors to a man of peace! This statue in bronze of Francis Asbury stands at a crossing of streets in the busy city of Washington